

1. 科目名（単位数）	保育実習指導Ⅰ（2単位）	3. 科目番号	SSOT3481 SCOT3481 SJMP3251
2. 授業担当教員	荒木 由紀子		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	保育実習Ⅰ（保育所）の意義・目的・内容・方法を理解する。児童福祉施設の種類及び保育所の機能と保育士の役割を理解する。さらに実習課題の明確化、実習記録の意義・方法の理解、実習施設の理解を図る。指導計画を立案し、実践に必要な準備を行う。実習後には、実習総括・評価を行い、新たな学習目標・課題を明確化する。		
8. 学習目標	「保育実習指導Ⅰ（保育所）」が終了した時点で、下記目標の達成が期待される。 1. 児童福祉施設の種類及び保育所の機能と保育士の役割を明確にする。 2. 実習記録の意義・方法を理解し、実習から得た学習内容を具体的に記録することができる。 3. 指導案の立案とそれに基づく模擬保育演習を行い、実践力を身につける。 4. 演習と議論を繰り返すことにより、理論と実践の統合とは何かを理解し、説明することができる。 5. 保育者を目指す者として望ましい態度を身につけられるよう、自身の日常生活態度、言葉遣い、服装、実習に臨む心構え等を自己評価・点検できる力を習得する。 6. 保育士としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体化について学び、説明することができる。		
9. アサイメント （宿題）及びレポート課題	アサイメント（宿題） 1, 実習に向かうための心構えに関する課題 2, 事務手続き等、実習に必要な書類に関する課題 3, 実習記録に伴う記述に関する課題、 4, その他（個人発表、授業内のワークシート、リフレクションシート等）		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 関口はつ江編著 「自分をいかす保育実習ハンドブック」 東京福祉大学編「保育実習の手引」 【参考書】 厚生労働省「保育所保育指針解説」フレーベル館		
11. 成績評価の基準と 評定の方法	○成績評価の基準 1. 実習記録の意義・方法を理解し、実習から得た学習内容を具体的に記録することができるか。 2. 指導案の立案とそれに基づく模擬保育演習を行い、実践力を身に付けることができるか。 ○評定の方法 個別の授業態度、グループ活動への取り組み、レポート等を総合して評価する。 1. 授業態度 50％ 2. 各提出物 50％		
12. 受講生への メッセージ	保育実習に向けて、実習の意義、目的、内容、方法及び乳幼児の理解について学びます。保育実習は、保育実践の現場に参加するということとても重要な学びの機会です。その重要な学びをより豊かなものにするために実習の課題を明確にし、実習記録の意義や保育所の役割を理解できるようにします。大学での学びを保育実践につなげるか、現在の自分が保育するための課題は何かを知り、保育実習への不安を期待に変えていけるよう、実習性としての心得を身につけ、準備をしていきましょう。		
13. オフィスアワー	別途、通知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	保育実習の目標と内容 実習の流れ及び実習施設との連携、必要書類について	事前学習	教科書及び「保育実習の手引」を予め読む
		事後学習	保育実習の基本について整理し、個人調書、自己紹介書等の下書きをする
第2回	実習におけるマナーとルールについて理解する	事前学習	教科書及び「保育実習の手引」を予め読む
		事後学習	実習におけるマナーとルールを整理する
第3回	実習先について知る オリエンテーションについて	事前学習	保育所の方針や特色、地域性について調べる
		事後学習	保育所概要について記入する
第4回	保育所の一日の流れを理解する 乳幼児の発達の特徴と年齢別による保育の留意点を理解する	事前学習	教科書、資料を予め読む
		事後学習	保育施設における一日の生活の流れを書き出してみる
第5回	実習で出会う子ども達、保育場面を知る ～DVDを視聴し、大切な部分を考える～	事前学習	教科書、資料を予め読む
		事後学習	保育施設における一日の生活の流れの中で、特に大切な場面を書き出してみる
第6回	保育所実習における記録の意義を理解し、実習記録の望ましい記述を身につける ①時系列の記録	事前学習	教科書及び「保育実習の手引」の「実習記録について」の箇所を読み、要点を整理する
		事後学習	自己の記録を添削する
第7回	保育所実習における記録の意義を理解し、実習記録の望ましい記述を身につける ②環境構成について学ぶ	事前学習	教科書及び「保育実習の手引」の「実習記録について」の箇所を読み、要点を整理する
		事後学習	自己の記録を添削する
第8回	保育所実習における記録の意義を理解し、実習記録の望ましい記述を身につける ③一日のまとめと振り返りについて	事前学習	教科書及び「保育実習の手引」の「実習記録について」の箇所を読み、要点を整理する
		事後学習	自己の記録を添削する

第 9 回	部分実習の指導計画及びそのアレンジを学ぶ	事前学習	教科書及び「保育実習の手引」の箇所を読む
		事後学習	年齢による発達の違いについて復習する
第 1 0 回	グループ発表に向けての指導計画の作成（個人担当の部分）	事前学習	取り組みたい部分について、何を行いたいかを明確にしてくる。
		事後学習	担当する部分について、グループ間でのつながりを確認する。
第 1 1 回	文化教材について学ぶ 自己紹介グッズを作ろう	事前学習	様々な文化教材について調べる。 自己紹介グッズを作るのに必要な材料を準備する。
		事後学習	文化教材、自己紹介グッズの発表練習をする。
第 1 2 回	保育所長からの講話 自分の実習課題を作成する	事前学習	自分の実習課題を予め書き出してみる。
		事後学習	実習を行わせて頂くことについて再度、自分の課題を明確にする。
第 1 3 回	グループ発表	事前学習	模擬保育の準備をする
		事後学習	他者の発表を参考にし、自分の改善点に取り組む。
第 1 4 回	グループ発表	事前学習	模擬保育の準備をする
		事後学習	他者の発表を参考にし、自分の改善点に取り組む。
第 1 5 回	授業のまとめ 実習施設への礼状の書き方	事前学習	事務手続き、持ち物、実習記録、教材準備等を確認する。
		事後学習	実習を通して学びたいこと、身につけた専門性についてまとめる。実際に礼状を書いてみる。
期末試験			